

# 房総の 震災復興を見て



松戸支部  
青山 貴仁

以前、全国の会報誌で二輪の免許を取得して千葉県を一周してみたい旨を投稿した経緯から今回、GoToトラベルを利用して一泊二日の千葉県の災害からの復興の見学を計画しました。コロナ禍でなかなか訪れることができなかつたのですが、思い切って行くことにしました。内容は松戸から内房外房と巡り、鋸南町と旭市の復興を見学、名所を訪ね、地元の美味しいものを食べることです。

一日目は鋸南町を訪ねました。2019年9月の台風15号の被害当時私は住宅被害相談で長柄町、鴨川市、八街市、芝山町で対応しました。鋸南町も被害の凄さ、職人不足もあって対応が遅れているなどの話を人づてに聞いていましたので、復興がどのくらい進んでいるのかを知りたく見学しました。

現地を訪れるとまだブルーシートの掛かっている家屋が見られ、災害の大きかった事を改めて感じましたが、復興も進んでおり、新規物件も多く見られました。物件は家屋よりグランピングと呼ばれるアウトドアが楽しめる宿泊施設が内房の国道沿いに多かったです。本来、内房は東京湾内で穏やかな場所ですから、多くの観光客が来ていただけるのではないのでしょうか。一過性ではなく根付くこと、賑わうことを期待したいです。

鋸南町から野島崎に向かう道中、崖観音と呼ばれるお寺に立ち寄りしました。崖にあるお寺は鳥取県にある投入堂が有名ですが、行ったことがないので千葉県で似ているものを見ることができて良かったです。印象は鋸山も崖に仏像が多くあるので似ていると思いました。



崖観音



ロケーションの良い風景

昼食は遅かったこともあり、かき揚げ丼を選択、千葉県南部に来た甲斐があると感じながらいただきました。食事したお店の辺りの風景はロケーションが良く、CMやドラマ撮影が多く行われているようです。

こうしている間に夕方になり、日の入りを撮影したい思いがあるので、急ぎ野島崎を目指しました。

なんとか間に合いましたが、雲が少し多く想像通りとはいかないものの、日の入りを撮影できて満足しました。



野島崎の夕日

宿はGoToトラベルで格安で泊まることができ、また地域共通クーポンももらえたのでかなりお得なものとなりました。キャンペーンや情報は有効に活用しないといけませんね。



かき揚げ丼

二日目は旭市を訪ねる前に野島崎の日の出を撮影したく午前4時に起床するものの濃霧により見られず残念でしたが、気を取り直して向かうことにしました。

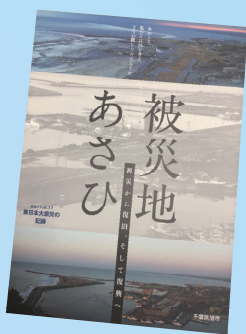
外房の海岸線をツーリングするのは初めてで、気分良く走れました。目的地の旭市は11年前の東日本大震災の津波の被害時に私は応急危険度判定で4日従事しました。1日に50件判定したことや被災者の方の涙ながらに語る津波の怖さを聞いたことなども印象に残っていました。

旭市に着き、復興をこの目で確かめようと行動する前に、私が当時応急危険度判定でお世話になった旭市の職員の方にご挨拶しようと市庁舎に向かうと新しく立派な建築物で驚きました。



建て替えられた旭市役所

残念ながら当時の職員の方は不在でお会いすることができませんでしたが、「被災地あさひ」という冊子をいただきました。震災被害件数の数字から復興の様子がまとめられた記録と記憶に残る大変素晴らしい冊子で、冊子の数字に私も少し貢献できたのではないかと思います。



避難用タワー

市庁舎を出て街中を見学すると避難用のタワーが目に入りました。このタワーは市内に4か所あるそうで、階段とスロープを兼ね備えたものとなっています。

次に川の河口に来てみると津波による逆流を防ぐ堰き止めがあるのと防波堤が高くなっているのが分かり、先程のタワーと合わせて防災施設が構築されていることが確かめられました。



防波堤



河口の堰き止め

家屋も新しく建築されており、人々の生活している姿がありました。11年の月日が流れ、私の目には復興していると感じられましたが、住まわれている方々にはまだまだと思われるかもしれないことも念頭に置かなければなりません。

## 復興前後の河岸



復興前



復興後

## 復興前後の橋



復興前



復興後

二日間を通してこれから私のできることは日頃の防災の備えをし、耐震診断や定期調査等職能を活かすことだと思いました。これからも頑張っていこうと再確認した見学となりました。

最後に二日間のバイクの走行距離は497.2kmで、我ながらよく走りました。

